

市政運営の方針

§ 目指すまちの姿

『すこやかなまち』
～ “市民がど真ん中”。市民が “輝く” ために～

§ 基本姿勢

- 1. 多様な関係性の再構築
- 2. 信頼ある行政の構築

§ 「すこやかなまち」づくりへの取組

1. 信頼のおけるセーフティネットの構築

すこやかな暮らしを実現するためには、子育て、教育、健康、医療、福祉を包括した信頼性の高いセーフティネットの構築が必要です。そのため、市民一人ひとりの健康保持と安心して子育てができる環境づくり、人と人との関わりを育む市民主体のまちづくりを進めます。

2. 新しい産業・雇用の創出

すこやかな暮らしを営むためには、暮らしの糧を得ることができるという安心感を根底に、働くことを通じて生きがいを楽しめる雇用の場が必要です。そのため、既存産業の高度化や新たなビジネスの芽を育てるなど、足腰の強い内発型の地域経済基盤の形成に取り組めます。

3. 生活・都市基盤ネットワークの最適化

すこやかな暮らしを支えるためには、人々の生活や発達・成長に適した都市の機能や環境が必要です。そのため、市民の生活行動に沿った市民同士の多様な関係づくりなどに配慮した、都市基盤づくりを推進します。

4. 暮らしを通じた「生きる力」の習得

すこやかな暮らしを育むためには、市民一人ひとりが日常生活を通じて、知識や体力、創造性や感性など「生きる力」を習得できる仕組みが必要です。そのため、上越市ならではの地域資源を活用し、日々の暮らしの中で「生きる力」が育まれるような空間づくりを目指します。

§ 地域主権を見据えた自治体改革

下支え

1. 行財政改革による行政運営の適正化

きめ細やかな住民自治の徹底により、市民ニーズに即した市政運営を実現すると共に、行政の組織力を最大限発揮するための体制整備を進めます。

2. 市民社会へのアプローチによる「新しい公共」の創造

公の課題に対し市民自らが自発的かつ主体的に判断し、解決に向けて行動する「市民自治」の理念を大切にしながら、そうした活動を行政が後押しします。

◆ 目指すまちの姿

— 「すこやかなまち」を目指して—

地域主権の時代、私は、今こそ市民生活という原点に立ち返り、市民が生涯を通じて心身共に健やかで安心して生活できるよう、子育てしやすい、学びやすい、健康でいられる、老後安心して豊かに過ごすことのできる — そのような「すこやかなまち」づくりが必要と考えます。

市民を “ど真ん中” に据え、市民が “輝く” ために、市民のすこやかな成長、すこやかな暮らしが育まれる「すこやかなまち」を、私は “目指すまちの姿” とします。

市民一人ひとりが主人公（地域づくりのプレイヤー）です。誰かのために、自分の出来ることに取り組み、生きがいや誇りが実感できる社会を築くこと…これが「市民がど真ん中」の本質です。また、そのことが、地域力の源泉となる「新しい公共」の創造に結びつきます。

◆ 基本姿勢

1. 多様な関係性の再構築

私たちの身体が、細胞や器官一つ一つの良好な関係性によってすこやかな状態が保たれているように、私が目指す「すこやかなまち」も、人と人、地域と地域、人と地域、また異なる分野間の良好な関係性なくして成立し得ないと考えます。失われつつある様々な関係性や絆をつなぎ直し、新たな関係性を構築すること、すなわち、多様な関係性を再構築することが、すこやかなまちを形づくる基本です。

- 農業・商業・工業、環境と経済、経済とコミュニティ、コミュニティと健康など異なる分野間の連携の積み重ねが重要なポイントです。
- 地域間の連携も同様です。地域自治体を核として、各地区の個性をいかすことによって、地区の孤立や地区間の対立を招くことなく他の地区との切磋琢磨が進むことで、その地区が輝き、上越市全体が一体感のある輝くまちとなります。

様々な社会問題の解決や新しい価値の創造

2. 信頼ある行政の構築

市民の皆さんと行政の間における様々な良好な関係性を再構築し、信頼の絆を生み出すことも重要です。そのため、信頼ある行政を構築します。

- 市民の声をしっかりと聴きし、その奥にある本当のニーズや、懸命に頑張っておられる方々の声なき声にも思いを馳せ、寄り添うこと。そうした行政の頑張る姿勢に対し、市民の皆さんから共感いただけることが、まちづくりのスタートラインです。
- 市政の抱える本質的な課題を看過することなく議論し、他との良好な関係性を築きながら広い視野に立って前向きに取り組んでいくことのできる新しい「組織風土」と「役所文化」を築き上げます。
- 目指すまちの姿を見据えたうえで、将来に向けた価値ある投資を行っていく。そのような戦略性を持った行財政運営を継続して行います。

市民から信頼される、市民目線に立った「温かい行政」

詳細は
2 ページへ

詳細は
3 ページへ

◆ 「すこやかな」まちづくりへの取組み

1. 信頼のおけるセーフティネットの構築
2. 新しい産業・雇用の創出
3. 生活・都市基盤ネットワークの最適化
4. 暮らしを通じた「生きる力」の習得

1. 信頼のおけるセーフティネットの構築	
すこやかな暮らしを実現するためには、子育て、教育、健康、医療、福祉を包括した信頼性の高いセーフティネットの構築が必要です。そのため、市民一人ひとりの健康保持と安心して子育てができる環境づくり、人と人との関わりを育む市民主体のまちづくりを進めます。	
具体的な施策	関連する公約項目
<ul style="list-style-type: none"> ○誰もが子どもたちにすこやかに育ってほしいと願っています。子育てひろばや相談窓口、放課後児童クラブ、地域青少年育成会議などの環境整備を通じて、「地域の子どもは地域で育てる」機運を醸成します。 ○子育て世帯の経済上の負担を軽減し、安心して治療が受けられるようにするため、医療費の無料化を目指した取組を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○補助教員の拡充でゆとりある教育をめざします。 ○子育てひろばを拡充します。 ○放課後児童クラブの環境整備を進めます。 ○子育て相談窓口の整備、未満児保育、病後児保育を充実します。 ○家庭・学校・地域で支える主体的な地域組織の整備を積極的に支援します。 ○小・中学校卒業までの医療費無料化をめざします。
<ul style="list-style-type: none"> ○暮らしの基本となるのは、やはり市民一人ひとりの健康です。健診や戸別訪問体制の強化などを通じて、市民一人ひとりの健康保持を目指し、結果として医療費の負担が軽減されるような、健康長寿社会の実現に向け取組めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○75歳以上の医療費負担軽減に取組めます。 ○個人を尊重した福祉・介護サービスを充実します。
<ul style="list-style-type: none"> ○いざという時の医療体制を確保するため、上越地域医療センター病院の機能を整備するとともに、各医療機関との効果的な連携を図り、良質な医療が継続的に提供できる体制を構築します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域医療センター病院の医療体制整備に取組めます。 ○命の道・上越魚沼地域振興道路の早期整備促進に取組めます。
<ul style="list-style-type: none"> ○子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、誰もが開かれた環境の中で集い、それぞれが持っている知識、技能や、感性などを分かち合い、共感できるような場づくりに努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者のみなさんが元気に活躍できる場づくりに努めます。 ○障害のあるみなさんの自立に向けた就労支援体制や生活介護型施設の拡充に努めます。 ○特別養護老人ホームなどの高齢者介護施設の拡充を急ぎます。 ○県と力を合わせて養護学校高等部の拡充と高等養護学校の創設の実現をめざします。
<ul style="list-style-type: none"> ○信頼のおけるセーフティネットは、人と人との関係性の中で成り立つものであり、そのことは、豊かな地域づくりにも結び付くと考えます。地域自治区などの活動を支援するとともに、NPOや地域コミュニティなどの自発的活動についての支援も広めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭・学校・地域で支える主体的な地域組織の整備を積極的に支援します。 ○地域自治区に地域活動資金（市税の1% 2億円）と権限を委譲し、地域の自主活動を支援します。 ○市民自治の力、地域コミュニティを育み、自立したまちづくりをめざします。 ○地域活動のパートナーとしてのNPO、スポーツ、文化団体などの自発的活動を支援します。

	<ul style="list-style-type: none"> ○自主防災組織の活動・育成を支援します。 ○災害時の情報防災システムを早急に整備・拡充します。
<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少や高齢化の著しい中山間地域の活性化につきましては、その地域にお住まいの方だけの取組には限界もあることから、集落支援制度をモデル的に導入しながら、幅広い集落支援の仕組みづくりに取組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中山間地域振興条例を制定し、地域集落支援制度を導入した集落の活力ある生産活動と暮らしを守ります。

2. 新しい産業・雇用の創出	
すこやかな暮らしを営むためには、暮らしの糧を得ることができるという安心感を根底に、働くことを通じて生きがいを享受できる雇用の場が必要です。そのため、既存産業の高度化や新たなビジネスの芽を育てるなど、足腰の強い内発型の地域経済基盤の形成に取組めます。	
具体的な施策	関連する公約項目
<ul style="list-style-type: none"> ○農業、工業、商業、サービス業など、既存産業の高度化をはじめ、新しい産業の芽を育てていくため、商工業や農林水産業などの様々な団体の主体的な取組に対する連携や支援に取組めます。特にこれからは、異分野、異業種間の連携によって、時代や環境の変化に対応できる新しい価値を創造していくことが不可欠です。 	<ul style="list-style-type: none"> ○上越のものづくり技術の高度化をはかるため地域の技術研究を推進します。 ○国際物流機能をもつ直江津港の利用促進と新規の外国貿易航路開設に取組めます。 ○企業誘致を積極的に進め、安定雇用の促進をはかります。 ○上越ブランドの高品質良食味米、伝統野菜など付加価値の高い農産物を生産する複合営農体制の整備を推進します。 ○農業基盤整備を進め、生産性の向上をはかります。 ○担い手、法人などの支援を強化します。 ○産・学・官の協働、地元大学による教育と福祉、異業種・農工商連携など、「新・価値」の創造を推進します。
<ul style="list-style-type: none"> ○地域の課題解決と雇用の創出を両立するコミュニティビジネスやソーシャルビジネスの育成について、その可能性を検討します。教育、福祉、環境、安全・安心など、地域活性化につながるすべての分野における、新たなビジネスチャンスとして、より多くの市民からチャレンジしていただくことに期待しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新規起業・創業・新分野進出などを促進するため、新事業創出を支援します。
<ul style="list-style-type: none"> ○観光分野への期待も大きいものがあります。これまでは、上越市の認知度や知名度の向上、来訪者数の増加に力点を置いてきた傾向もありますが、これからは産業としての観光を強く意識した取組を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光の振興、産業の活性化をはかるため、広域連携を進めます。 ○地産地消の取組をさらに進め、需要の安定化と販路拡大など農林水産業の振興をはかります。 ○上越市おもてなしの心「道の駅・大型食物産センター」（仮称）の建設構想に着手します。 ○越後田舎体験など、地域資源を生かし、通年型・周遊型観光の推進に取組めます。 ○市民の総意でもてなすガイド・インストラクターを養成します。

3. 生活・都市基盤ネットワークの最適化	
すこやかな暮らしを支えるためには、人々の生活や発達・成長に適した都市の機能や環境が必要です。そのため、市民の生活行動に沿った市民同士の多様な関係づくりなどに配慮した、都市基盤づくりを推進します。	
具体的な施策	関連する公約項目
<p>○人口減少や厳しい財政状況の中、市民が暮らしやすく、交流しやすいまちを形成していくためには、公共施設の統廃合や事業規模の縮小を前提としながらも利便性を高めていくような、これまでの発想とは異なる投資が必要と考えます。教育施設、医療・福祉施設、商業施設などの各種施設の配置や、公共交通機関や下水道などのライフラインの整備に当たっては、市民の生活行動に沿った市民同士の多様な関係づくりなどに配慮した、都市基盤づくりを推進します。このことは、一朝一夕にできることではありませんが、まずは、市民が安心して暮らせるよう、身近な生活関連施設の整備を着実に進めます。</p>	<p>○生活道路や下水道整備など、快適な生活環境の整備促進をはかります。 ○除雪対策・体制の強化充実をはかります。 ○儀明川ダム建設に伴う高田市街地の流雪溝を整備します。 ○河川改修、海岸保全などに取組みます。 ○耐震補強など安全な教育施設環境の早期整備を確実に進めます。 ○市民の生活の足を確保するため、並行在来線をいかした公共交通ネットワークを整えます。 ○中心市街地をよみがえらせる都市再生と、地域中心商店街の復活に取り組めます。 ○「学び」を自らの力でできる個性と自立を育む教育環境の向上に努めます。 ○高田地区に厚生産業会館（仮称）を建設します。 ○民間活力の活用や施設の統廃合を行い、行政の効率化、スリム化をはかります。 ○通学・通園バス利用者負担の無料化に取り組めます。 ○命の道・上越魚沼地域振興道路の早期整備促進に取り組めます。</p>

4. 暮らしを通じた「生きる力」の習得	
すこやかな暮らしを育むためには、市民一人ひとりが日常生活を通じて、知識や体力、創造性や感性など「生きる力」を習得できる仕組みが必要です。そのため、上越市ならではの地域資源を活用し、日々の暮らしの中で「生きる力」が育まれるような空間づくりを目指します。	
具体的な施策	関連する公約項目
<p>○かつて私たちは、上越市の大きな特色でもある農業や雪国ならではの暮らしを通じて、知恵や忍耐力をはじめ、すこやかな体や感性など、様々な「生きる力」を習得してきました。しかし、ライフスタイルの変化によって、そのような機会や場所は、確実に減ってきています。豊かな暮らしを育むためには、学べる機会や場所が、日々の暮らしの中に溶け込んでいく必要があります。そのため、上越市ならではの地域資源を用いる「made in 上越」へのこだわりが重要です。上越市固有の地域資源をネットワーク化し、市域全体を“ミュージアム”に見立て、その中で日々の生活を送りながら、「生きる力」が育まれるような空間づくりを目指します。</p>	<p>○「学び」を自らの力でできる個性と自立を育む教育環境の向上に努めます。 ○市民の夢「新・水族博物館」の建設を検討します。 ○環境エネルギーをテーマとした特色ある施設の誘致整備を検討します。 ○地域が持つ多様な文化の発信力を高めるため、文化ネットワークを整え、高田地区に文化交流施設を整備します。 ○地産地消の取組みをさらに進め、需要の安定化と販路拡大など農林水産業の振興をはかります。 ○地域活動のパートナーとしてのNPO、スポーツ、文化団体などの自発的活動を支援します。 ○産・学・官の協働、地元大学による教育と福祉、異業種・農商工連携など、「新・価値」の創造を推進します。</p>

◆ 地域主権を見据えた自治体改革

1. 行財政改革による行政運営の適正化
2. 市民社会へのアプローチによる「新しい公共」の創造

1. 行財政改革による行政運営の適正化	
きめ細やかな住民自治の徹底により、市民ニーズに即した市政運営を実現するとともに、行政の組織力を最大限発揮するための体制整備を進めます。	
具体的な施策	関連する公約項目
<p>○新たなまちづくりを戦略的に推進するためには、行政の組織体制や財政運営の手法、職員が備えるべき資質も当然変わらなければなりません。大胆な行財政改革を実行し、必要な態勢を整えるため、「マネジメントシステムの再構築」、「健全財政の推進」、「組織機構改革」、「人材育成」に取り組めます。</p>	<p>○市長、副市長の給与を削減します。 ○第三セクターの抜本的な経営改革と施設経営形態の見直しをはかります。 ○人件費の削減や不用の財産の処分などにより、財政の健全化をはかります。 ○行政組織を抜本的に見直し、親切・迅速・活力ある市役所をめざします。 ○民間活力の活用や施設の統廃合を行い、行政の効率化、スリム化をはかります。</p>

2. 市民社会へのアプローチによる「新しい公共」の創造	
公の課題に対し市民自らが自発的かつ主体的に判断し、解決に向けて行動する「市民自治」の理念を大切にしながら、そうした活動を行政が後押しします。	
具体的な施策	関連する公約項目
<p>○地域づくりの主人公は、市民一人ひとりです。豊かな地域づくりのため、地域の課題を自らのこととして考えていただき、地域住民が連携して取り組むことによって、新たな絆を地域社会の中に生み出すきっかけとなるよう、「近隣社会における共生」、「多様な市民活動」、「市民と行政の『協働』」の取組を進めます。</p>	<p>○地域自治体に地域活動資金（市税の1% 2億円）と権限を委譲し、地域の自主活動を支援します。 ○市民自治の力、地域コミュニティを育み、自立したまちづくりをめざします。 ○自主防災組織の活動・育成を支援します。 ○市民の総意でもてなすガイド・インストラクターを養成します。</p>